

輝く! 紀の国の教育

NO.
54
2026.3

かがやく! きのくにのきょういく | WAKAYAMA PREFECTURE EDUCATION PUBLIC RELATIONS PAPER



和歌山工業高等学校建築科

特集 (P2~3)

工業科で
「ものづくり」
を学ぼう!!

目次

- P4 — 学校での取組を紹介します!
和歌山市立雑賀小学校
輝く! 紀の国の先生
- P5 — きのくに教育めぐり (岩出市教育委員会)
- P6 — 各種相談窓口
守ろう! 命と交通ルール
- P7 — 県立近代美術館 特別展

工業科で 「ものづくり」 を学ぼう!!



工業科MAP



模擬送電線実習



自分の思いを形にする学び

紀北工業高等学校

システム化学科 電気科

機械科

授業では専門的な知識を学ぶとともに、論理的思考力の育成をめざし、PDCAサイクルを意識することで主体的かつ協動的に学ぶ力を養うなど、「ものづくり」の楽しさと奥深さを実感できる取組を行っています。
さらに、バッテリー教育プログラムとして、地域や関連企業と連携し、リチウムイオン電池に関する専門の授業を展開するなど、近畿で最先端の取組を実施しています。
地域産業に沿った学びを広げながら、未来を切り拓く人を育てます。



液体の化学分析

仏像レプリカ製作



和歌山工業高等学校

〔全日制課程〕

建築科 機械科 電気科 土木科 産業デザイン科

君のワクワクを応援する

化学技術科 創造技術科

全7学科を設置しており、幅広い専門分野が学べます。
特に、産業デザイン科では、寺院や神社で大切に受け継がれてきた仏像や神像の盗難・災害対策として3Dプリンター製の高精度レプリカを製作して現地に安置し、実物を博物館等で保管するお身代わり仏像プロジェクトを展開しています。この学びの成果は、大阪・関西万博で新たな取組として高い評価を受けました。
本校でもものづくりへの情熱を見つけ、形にし、ワクワクする未来を作りましょう。



木工実習

ガス溶接実習



〔定時制課程〕

生徒一人一人に寄り添い、夢の実現を目指す

機械電気科 建築科

県内唯一の工業高等学校定時制課程として、地域の産業を支える人材が数多く輩出しています。生徒一人一人に寄り添い、夢の実現をサポートします。
本校の特徴として専科生制度があります。この制度は、高等学校をすでに卒業された方を対象としており、3年生に編入して工業の専門科目のみを学習します。専科生には年齢の高い方も多く、熱心に学ぶ大人の存在は、10代の生徒にとっても良い刺激となっています。



電子回路作成

本県の工業科を設置する高校では、普通科目に加え、専門科目の授業を行い、将来、工業分野で活躍できるスペシャリストの育成を目指しています。
今回は、和歌山の「ものづくり」を支える、県内の工業科について紹介します!



溶接実習



ものづくりは人づくり、想像を創造する 箕島高等学校

機械科

機械全般に関する基礎的な知識や技能・技術を学びます。実習では、実際に地元企業の方に「匠の技」を技術指導していただきながら授業を行っています。また、「実習安全の手引き」に基づき、安全教育を行っています。
将来、工業の各分野において即戦力として活躍できる人材育成と、資格検定の取得に力を入れています。
これからも、「健全で実践的な態度や姿勢」「確かな技術力」をもった工業人を育成していきます。



レーザー加工実習

アームロボット操作



専門性を活かした持続可能な地域産業の創り手 紀央館高等学校

工業技術科

「機械系列」と「電気系列」の2つの系列で構成されています。「ものづくり」の基礎と応用を実技重視で習得し、必要な知識と技術を幅広く学びます。卒業後すぐに実務に通用するスキルが身に付き、資格取得やキャリア形成に有利な制度も整っています。
機械・電気分野で専門性を磨きたい人にとって非常に魅力的な学校として、地域からも高く評価されています。生徒一人一人の個性を大切にしながら、多様な進路を実現しています。



プログラミング実習

飛び出し看板の設置



未来の地域を担う、伝統が育むものづくり人材 田辺工業高等学校

機械科 電気電子科
情報システム科

「ものづくりは人づくり」を校訓とし、各学科で特色を活かした工業教育を展開し、未来の地域を担う人材育成に努めています。
また、飛び出し防止看板を制作・設置したり、田辺市立武道館の周辺をイルミネーションで彩ったりするなど、地域や企業との関わりを取り入れた授業を展開しています。
ふるさとを大切にすることを育むとともに、ものづくりの奥深さや楽しさを通じて、常にチャレンジする生徒を応援します。



電気工事

工業科では



実践的技術や専門的知識を高等学校段階から身に付けることができます。卒業後は、様々な職種への就職はもちろん、大学・専門学校への進学など幅広い進路につながっています。
学校生活においては、工業科ならではの部活動や行事などがあり、生徒が意欲的に取り組む姿が見られます。
今後さらに、工業科の充実を進めるとともに、魅力を高め、地域産業で活躍する人材の育成を目指していきます。

こどもが自らの学びを実感できる授業づくり

和歌山市立雑賀小学校では、「よりよい自分と社会を創造するこどもの育成」を研究主題とし、社会科、生活科、総合的な学習の時間の研究を推進しています。

各教員は、「こどもが自らの学びを実感できる」を大切に、「人・もの・こと」との出会いや体験、地域教材を生かして、独自性を発揮した教育活動を行っています。その中で、こどもが「自分ごと」として本気で取り組む真摯な学びを目指しています。



「すごいぞ和歌山！～発見・発信・国際交流～」

大阪・関西万博見学の機会を社会科及び総合的な学習の時間と関連付けて、「和歌山の魅力を伝えようー大阪・関西万博をきっかけとしてー」という学習テーマを設定しました。社会科「世界のなかの日本とわたしたち」、大阪・関西万博見学、和歌山城で外国人観光客に英語で行ったインタビュー等をとおして、世界の中の日本について学びました。その後、こどもから「もっと和歌山の魅力を伝えたい」という声があがりました。そこから、和歌山の魅力について、さらに自分たちで調べて伝えようという学習を進めています。



「自ら発見・自ら解決」

社会科「くらしをささえる水」では、「自分たちが使っている水はどこから来ているのか」という疑問をもとに、紀の川源流地である奈良県川上村へ見学に行きました。その後「自分たちが使っている水は最終的にどのようなのか」という問いにつながり、海に視点が向きました。近くの海へ行った際、漂着物を見て、「どうにかできないか」という問題意識をもちました。この問題意識をもとに、総合的な学習の時間「海ってええな～すばらsea～」という学習テーマを設定し、環境問題について考え始めました。きれいな海を守るために自分たちで漂着物を集め、それを加工して作品を作り、発信しました。

今後も、雑賀小学校では、教室での学習を大切にしながらも、最適なタイミングで地域に出かけることで、意欲的に活動し社会の様々な事象を自分ごととして捉え、学習していきます。

輝く！ 紀の国の先生

和歌山市立西脇中学校 理科 辻岡 宥作先生
今回の「輝く！紀の国の先生」は、和歌山市立西脇中学校の辻岡宥作先生をご紹介します。中学時代の恩師に憧れて教員を目指し、今年で13年目になります。生徒の学びを深めるために、日々、新しいことを取り入れて授業を行う辻岡先生の思いを、インタビューを通してお伝えします。



Q 教員のやりがい・魅力は？

卒業式で、入学時から見てきた生徒の成長を感じたときです。また、卒業生が学校に会いに来て、近況を報告してくれたり、相談してくれたりすることがあります。生徒の人生に関わることができる素晴らしい仕事だと思っています。

Q 先生にとって良い授業とは？

生徒にとってシンプルでわかりやすい授業です。授業後に、何を学んだかが自分で説明できるようになってもらいたいです。

Q 普段の授業で工夫していることは？

最も意識しているのは、授業の流れがわかるようなワークシートを使って授業をシンプルにすることです。また、最近ではICTを活用して、資料に実験動画のリンクを貼ったり、結果やまとめ、授業の振り返りなどを生徒が一人一台端末で入力したりするような工夫をしています。このように学習方法等の選択肢を増やすことで生徒が自分に合った方法で学習を進められるよう、試行錯誤しています。



Q 授業づくりの原点は？

令和元年度に、研修で秋田県の中学校に1週間行かせて頂きました。そちらの先生に授業の組み方、道筋の立て方などを教えてもらったことが、現在の授業づくりにつながっています。

Q 今後取り組んでいきたいことは？

研究授業に積極的に参加していきたいです。自分の授業を見てもらって意見やアドバイスをもらったり、他の先生の授業を見せてもらって新たな視点を得たりする機会を増やしていきたいです。

新たなことに挑戦する経験が自分を成長させ、自分の財産になったという辻岡先生。生徒にとってシンプルで分かりやすい授業を目指し、挑戦を続ける先生の思いをご紹介します！

TOPICS 補充講師登録のお知らせ

和歌山県では、講師登録者を募集しています。学校で勤務してみたい方はぜひ登録ください。

- 募集区分 / 常勤講師、非常勤講師
- 応募資格 / それぞれに必要な資格・免許を有する方
- 応募書類配布 / 和歌山県教育委員会 教職員課のWEBサイト



- 小中学校希望
 - 紀北(有田地方以北) → 紀北教育事務所
 - 紀南(日高地方以南) → 紀南教育事務所
- 県立高校・特別支援学校希望(全県) → 教職員課

申し込みは上記各所まで応募書類を郵送もしくは持参のこと。

きのくに教育めぐり

岩出市教育委員会

岩出市の教育について

岩出市は和歌山県内でも市の面積が狭いながら(38.51km²)、県都和歌山市、関西国際空港に近い立地条件から民間主導の宅地開発による人口増加を背景に県内有数の規模を誇る児童生徒数(令和7年5月1日現在小学校6校2,763人、中学校2校1,294人)となっています。市の進めるまちづくりとして喫緊の課題である人口減少に歯止めをかける一施策として若者や女性を含めて、全ての人が地方に住み続けられるように質の高い教育を提供すべく「令和の日本型学校教育」の充実に向け取り組んでいます。

岩出市教育委員会の令和7年度 主な取組

1 個別最適な学びの実践と学習意欲の向上による学力向上

本市では、全ての児童生徒の可能性を引き出す新しい学びの実現に取り組んでいます。中央小学校と岩出第二中学校が、令和7年度文部科学省の「リーディングDXスクール事業」の指定校として採択され、全国に先駆けたモデル実践に取り組んでいます。
● 端末を活用した新しい学びの実践
一人一台端末(Google端末)を日常的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる授業を展開しています。

<学習意欲の向上>

児童生徒が自ら課題を設定し、情報を収集・整理・分析し、まとめ・表現する「探究サイクル」を回すことや端末を活用して、自主的な学びを促すことで、主体的に学ぶ意欲を高めています。



<「複線型授業」への挑戦>

一人一人の進度や興味・関心、理解度に応じた学習活動を提供し、多様な学びのルートが用意された「複線型授業」の実現を目指しています。これにより、誰一人取り残すことなく、全ての児童生徒がそれぞれのペースで深く学ぶことを可能にしています。



本市の教育DX、始動！個性に合わせた学びで意欲と学力を育む。

2 根来の子守唄や地域の文化資源を活用したふるさと意識の醸成

放課後こども教室で根来の子守唄を学んだ小学生が、卒業してもその活動を継続していくため結成された岩出市内小・中学生のユニット「根来の子守唄つくし」。
岩出市の文化資源である根来の子守唄を未来に継承していくため、興味や関心を持つ市民の輪を広げ、ふるさとの文化を学び発信できる人材の育成を目指しています。



大阪・関西万博でのイベントの様子

3 スポーツ施設的环境改善とスポーツイベントの充実

本市では、市民の皆さんが気軽に、そして快適にスポーツを楽しめるよう、スポーツ振興くじ助成金(toto)を活用し、スポーツ施設の環境整備に取り組んでいます。また、岩出市民運動会や岩出マラソン大会などのイベントを通じて、世代を超えた交流の輪が広がり、スポーツを身近に感じられるまちづくりを進めています。



岩出マラソン大会の様子



助成金の活用により人工芝を整備した大宮緑地総合運動公園

TOPICS

岩出市教育支援センター「フレンド」給食提供開始

こどもたちの笑顔のため、令和6年10月から教育支援センターで給食の提供が始まりました。この取組は、和歌山県の事業を活用しています。栄養バランスのとれた温かい食事を通し、こどもたちが安心して過ごせる居場所を提供しています。



教育長挨拶

岩出市教育委員会 教育長 津田 浩伸

こどもたちが根来の文化に触れながら確かな学力を身につけ、自らの未来を切りひらく力を育むとともに、高齢者を含む全ての市民が地域の中で新しい知識や教養を深め、生きがいを感じられる環境整備を推進します。学校教育での「個別最適な学び」による学力向上と、スポーツ・文化を通じた生涯学習の機会充実が、豊かな人づくりとなり、活力あるまちの未来へと繋がります。市民一人一人の「学びたい」という意欲を最大限に支援してまいります。

各種相談窓口

～ひとりで悩まないで～

お問い合わせはこちら▶
こども支援課 TEL:073-441-2555

若者総合相談With You

学校、職場での困りごとや、家族、友人との関わり方など、なんでもご相談ください。

- With You わかやま
和歌山市本町1-22 Wajima本町ビル4階 TEL:073-428-0874
- With You きのかわ
橋本市市脇1-1-6 JA橋本支店ビル2階 TEL:0736-32-0874
- With You 南紀
田辺市高雄1-23-1 市民総合センター北館 TEL:0739-24-0874

受付時間 月～金曜日10時～17時(祝日・年末年始等を除く)
来所相談は事前にご予約ください

利用対象者 概ね15歳～39歳までの方とご家族など



わかやまネットトラブル相談窓口

アカウントを乗っ取られた、無断投稿を削除してほしい、ネットでいじめに遭っているなど、ネットに関する様々なトラブルについて相談いただけます。24時間、チャットbotが自動で対応し、希望すれば、平日の15時から19時までの間には相談員にも相談できます。相談したい方、悩みのある方は、二次元コードからアクセスしてください。

利用対象 県内のこどもに関するネットトラブルの相談



EL-BASE ぷらす

若者の社会参加への第一歩をサポートするために、公認心理師等が対人不安や日常の悩み等に寄り添い、若者同士の交流機会を通じて、社会参加に必要な対人コミュニケーションや学び等を支援しています。そして、主に小中学生向けのイベント企画等を通じた就労体験も提供しています。興味がある方は、ぜひ二次元コードからお問い合わせください。

利用対象者 15歳～39歳で現在アルバイトや就労をしていない方
和歌山県にお住まい、または拠点がある方に限ります



守ろう! 命と交通ルール

自転車安全運転街頭指導

毎月1日と15日に、学校、警察及び関係者の方々が協力して、街頭指導を実施しています。

交通事故の被害者にも加害者にもならないよう、交通ルールを守り、一人一人が安全運転を心がけましょう。



注目 「青切符」制度が導入され、反則金の対象となります!!

道路交通法の一部改正により、令和8年4月1日から、16歳以上を対象に自転車の一定の交通違反に対して、「交通反則通告制度」いわゆる「青切符」制度が導入され、**反則金の支払の対象**となります。

- 【対象となる行為】**
- ・携帯電話使用
 - ・通行区分違反(右側通行)
 - ・並進
 - ・指定場所一時不停止など

日置中学校

第40回時事通信社「教育奨励賞」
優秀賞・文部科学大臣奨励賞受賞



白浜町立日置中学校が、時事通信社「教育奨励賞」にて、最も優れた賞である優秀賞・文部科学大臣奨励賞を受賞しました!

日置中学校では、「日置の魅力を発信する」という理念のもと、地元企業や地域と連携し、生徒手作りのフリーマガジン「ひきよせ」を発行しています。取材のAppointmentから原稿執筆までを生徒が行うという生徒主体の取組である点や、地元企業との産学連携事業であるという点が高く評価されました。



内外教育

神島高校

第13回高校生ビジネスプラン・グランプリ(日本政策金融公庫主催)
神島塾「和歌山のめぐみピクルス」3年連続全国入賞



全国の高校生が起業のアイデアを競う、高校生ビジネスプラン・グランプリで、神島高校の生徒たちが発案したプランが応募総数5640件の中からベスト20に選出され、入賞しました!

地元の特産品である「梅の調味液」と、「規格外の野菜」を使用したピクルスは、フードロス削減しながら新商品を開発した発想と、地域の問題改善に貢献する内容が高く評価されました。今後は実際に販売することを目指し、生徒たちは新たな挑戦をはじめています。



県立近代美術館 特別展

高校生以下・65歳以上・障害者の方は入館料が無料です。
休館日は月曜日(祝休日の場合は翌平日)です。

下村観山展

期間 5月30日(土)～7月20日(月・祝)

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 (主催)和歌山県立近代美術館、日本経済新聞社



重要文化財 東京国立博物館 Image: TNM Image Archives (展示予定期間:5月30日～6月28日)



下村観山(木の間の秋)1907(明治40)年 東京国立近代美術館

下村観山という画家を知っていますか。1873(明治6)年、紀伊徳川家に仕えた能楽師の家に生まれ、明治から昭和のはじめにかけて活躍した日本画家です。和歌山県立近代美術館では県ゆかりの画家として、1981(昭和56)年に展覧会を開催していますが、今回45年ぶりに、ふるさと和歌山での大回顧展が実現します。

実際に観山が生まれた場所は、今の日赤和歌山医療センターの南側あたりでした。8歳になる頃には一家で東京へと移り住み、まもなく絵を学びはじめます。早くからその才能を発揮した観山は、狩野芳崖、橋本雅邦といった名だたる画家たちに教えを受け、東京美術学校の第一期生となりました。卒業後は同校で教え、また岡倉天心が率いた日本美術院の創立に参加して、横山大観や菱田春草らとともに新しい日本美術の道を切り拓いていきます。

1903(明治36)年には、国から派遣される留学生としてイギリスへ渡り、日本画の発展を目指して西洋美術の絵画技法を学びました。その成果は、日本古来の絵画表現と西洋画の写実表現を融合させた独自の創意へと展開し、帰国後は画壇のリーダーとして活躍していきました。今回の展覧会では、イギリスの大英博物館から留学時代の作品をお借りするほか、《木の間の秋》《弱法師》(重要文化財)など代表作を通じて、その画業をたどります。

一方、観山の画家としての仕事は、展覧会への作品出品だけでなく、日本の近代化に重要な役割を果たした渋沢栄一ほか財界人らとの関わりによっても支えられていました。そうした社会における観山の姿も含めて、大きく2部構成で再検証するのが、今回の回顧展です。

県立博物館施設 休館のお知らせ

- 県立博物館 | 改修工事のため、令和7年11月26日(水)～令和8年7月31日(金)まで休館となります。
- 県立紀伊風土記の丘 | 改修工事のため、令和8年4月1日(水)より休館となります。開館時期は決定次第、当館ホームページに掲載します。なお、園内の散策は可能です。

教育長
エッセイ

これからの部活動

～子どもたちが「楽しい」と実感できる環境に～



教育長 今西宏行

前号で、県教育委員会が取り組んでいる教育と福祉の連携について紹介をさせていただきました。続編として、教育委員会と福祉保健部、共生社会推進部の若手、中堅職員で立ち上げた連携チームのその後の活動について報告します。

9月に貴志川高校で出前講座を実施し、生徒の皆さんに「福祉すごろく」を体験してもらいました。11月には「ヤングケアラー」に関する研修会と「子どもと家庭を地域で支える仕組みづくり」をテーマとしたワークショップを開催しました。詳しい内容は、メディアプラットホームnoteの和歌山県教育委員会のページに掲載していますので是非そちらをご覧ください。（「#教育と福祉の連携」で検索してください。）ご協力頂ける学校や関係機関が増えてきたことは大変ありがたいことだと思いますし、彼らの地道な取組の成果であると思います。

さて、今号では、部活動の地域移行について、少し述べさせていただきます。部活動の地域移行ってどういうこと？本当にできるの？そんな声をよく聞きます。「部活動を地域に移行する」とは、中学校の文化部、運動部の活動を、土、日曜日、祝日は、地域の文化団体やスポーツクラブ等で行い、その指導を地域の皆さんに担って頂くということです。移行完了の目標を令和13年度末としていて、その後は、平日もできる限り移行させていく予定です。目的は、教員の負担軽減のためですか？これもよく聞

かれます。確かに教員の働き方改革を進めることは絶対に必要ですし、大きく寄与すると思います。しかし、それだけではありません。今後もこどもの数が減り、中学校が小規模化していけば、部員が少なく平日の練習も思うようにできない、そういう部が増えていきます。子どもたちが部活動を通して芸術や音楽、スポーツに親しみ、友達と一緒に楽しい時を共有することは素晴らしいことです。しかし、それができる環境を維持するのが難しくなっています。部活動を持続可能なものとするために、部活動そのものを見直す時期に来ています。ポジティブに捉えるなら地域移行は、部活動の新しい在りようを見出せるチャンスかもしれません。例えば、地域のスポーツクラブでは、子どもたちが今までやったことのないようなスポーツにチャレンジできたり、違う世代の人たちと交流を深められたりといったことが進むかもしれません。部活動にとって一番大切なことは、子どもたちが心の底から「楽しい」を実感できるかだと私は思っています。

部活動の地域移行は、教育的意義を失わないか、指導者は確保できるのか、費用負担を軽減できるのか等々、たくさんクリアすべき課題はあります。県教育委員会は、それらにもしっかり対応しつつ、これからも部活動が子どもたちの笑顔があふれる場となるよう取り組んでいきたいと思っています。

和歌山の教育の今を伝えるプラットフォーム 和歌山県教育委員会公式note

県教育委員会では、教育に関する情報や学校における児童生徒の学びの様子を積極的に発信するため、情報発信プラットフォーム「note」に公式アカウントを開設しました。和歌山県立学校における日々の学び、創意工夫、児童生徒のいきいきとした姿、地域の温かな支えに加え、美術館・博物館・図書館を含めた教育の現場での新たな発見・感動や挑戦を広く全国に届けていきます。

noteは
こちらから
ご覧ください公式
インスタ
グラムぜひ、フォローと
「いいね!」を
お願いします!

KYOUIKU_WAKAYAMA

TOPICS 高校生の皆さんへ 奨学金・給付金等のお知らせ

和歌山県では、高校生の皆さんが安心して学べるよう、次のような奨学金や給付金の支援制度があります。

※各制度には支給要件があります。

安心して高等学校等で学ぶために

- 1 高等学校等就学支援金…公立高等学校の授業料（私立は授業料の一部）の負担が不要となります。
- 2 高校生等奨学給付金…教科書費、教材費など授業料以外の教育に必要な費用を給付します。
- 3 修学奨励金（奨学金）…高等学校等で学ぶための費用を貸与します。（無利子貸与）

安心して大学等へ進学するために

- 4 和歌山県大学生等進学支援金…低所得世帯かつ大学等への進学意欲と能力が高い方に年間60万円を4年間貸与します。（選考検査有り。条件により返還免除有り。）
- 5 修学奨励金（進学助成金）…大学等に進学するにあたり転居が必要な方に一時金を貸与します。（無利子貸与）
- 6 高等教育の修学支援（授業料等減免・給付型奨学金）…要件を満たす大学生等に授業料等の減免や奨学金の給付をします。

問合せ先

- 1 公立 県教育庁総務課振興班 / 073-441-3646
私立 県文化学術課学術振興班 / 073-441-2098
- 2 公立 県教育庁生涯学習課奨学班 / 073-441-3728
私立 県文化学術課学術振興班 / 073-441-2098

- 3 5 県教育庁生涯学習課奨学班 / 073-441-3663
- 4 県教育庁生涯学習課奨学班 / 073-441-3758
- 6 文部科学省特設サイト「高等教育の修学支援新制度」
(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取組を行っています。

詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。

また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております。

教育委員会事務局総務課

和歌山県教育委員会

